

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**東プレ株式会社**（証券コード:5975）

## 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

## ■格付事由

- プレス部品を主力とする独立系自動車部品メーカー。金型製作や高張力鋼板プレス加工で豊富なノウハウと実績を有し、日産を筆頭にホンダ、トヨタなど日系自動車メーカーと安定した取引基盤を構築している。定温物流関連事業は冷凍車製造販売で国内首位。冷凍装置とコンテナを一貫生産し、顧客ニーズにきめ細かく対応できることを強みとしている。
- 業績はコロナ禍以降の落ち込みから立ち直っており、当面現状程度の利益水準を維持できる見通しである。半導体・部品不足の解消に伴う自動車生産の回復を背景にプレス部品の販売数量が増加したほか、製品価格の改定が進展したことで業績が押し上げられている。また、課題であった米国事業でコスト削減や労働者の定着にかかる取り組みが進みつつあることも寄与している。定温物流関連事業は更新需要の強い状況が続くとみられ、業績は堅調に推移すると考えられる。財務内容は良好な水準にある。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 25/3期営業利益は200億円（前期比10.7%減）が計画されているが、当面は事業環境に大きな変化はないとみられ、26/3期以降も25/3期並みの利益を確保可能と考えられる。27/3期は増産投資などにかかる減価償却費が増える見込みだが、コストダウンなどによって一定程度吸収できよう。なお、主要ユーザーである日産はグローバル生産能力の削減を公表するなど厳しい状況が続いている。同社の生産台数がさらに減少する場合、当社の利益の下押し要因となるリスクがあり、今後の動向に注意を払っていく。
- 25/3期第2四半期末の自己資本比率は57.9%であり、ネットキャッシュポジションとなっているなど財務内容は健全である。今後は生産能力の増強や、新車種向けプレス部品にかかる設備投資が計画されている。また、3年間累計で100億円程度の自社株買いを実施する方針となっている。とはいえ、当面の利益および営業キャッシュフローの見通しを踏まえれば、財務構成が大幅に悪化する懸念は小さい。

（担当）小野 正志・近藤 昭啓

## ■格付対象

発行体：東プレ株式会社

## 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年12月4日	2025年12月4日	0.170%	A
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2024年9月12日	2029年9月12日	0.890%	A

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年11月22日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：小野 正志
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「自動車部品」(2023年8月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 東ブレ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル